



医療法人 好縁会グループ
Medical Corporation KOENKAI Group.

【西条本部】

広島県東広島市西条町寺家7432-1

TEL:082-424-1266 FAX:082-431-3810

【広島支部】

広島県広島市東区光町1-12-16広島ビル3F

TEL:082-568-5666 FAX:082-568-6555

■ e-mail info@koenkai-gr.jp

■ <http://koenkai-gr.jp/>

医療法人 好縁会

検索

医療・看護・介護のスキルミックスによるトータルライフサポート



医療法人
好縁会グループ



● 医療部門 ●

「あなたに会えてよかった」良きご縁を紡いでいきたい

◆ 広島県における介護業界のオピニオンリーダー

地域の皆さまに一人でも多くの安心とやすらぎのある生活を送って欲しいと願い、東広島市を拠点に広島市と安芸郡府中町にその活動範囲を拡大しています。現在ではたくさんの事業所を構える法人となっています。

◆ 医療機関との連携サポートによる安全性

介護保険制度の基本理念である「高齢者の自立」を達成するためには、「安心・安全」な環境が必要です。医療法人好縁会では「安心・安全」な生活を送っていただけるよう、ハード面に気を配った施設設備を進めるとともに、医療と介護が連携したサービスを法人内においてノンストップで提供しています。



下山 直登

医療法人 好縁会 理事長・総院長

◆ 地域医療の担い手として

下山記念クリニック(東広島市)並びに西原セントラルクリニックでは、内科、アレルギー科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科、心療内科、精神科を中心に、常勤医師と非常勤医師が連携し、各専門分野において質の高い医療を提供し、皆さまの健康を守る一翼を担っています。

◆ 各専門職がそれぞれの力を発揮

看護部はもとより、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、放射線技師、管理栄養士などの医療系専門職と協力して、地域の皆さまに信頼されるホームドクターとしてそのニーズに応えたいと考えています。

◆ 医療と介護の連携

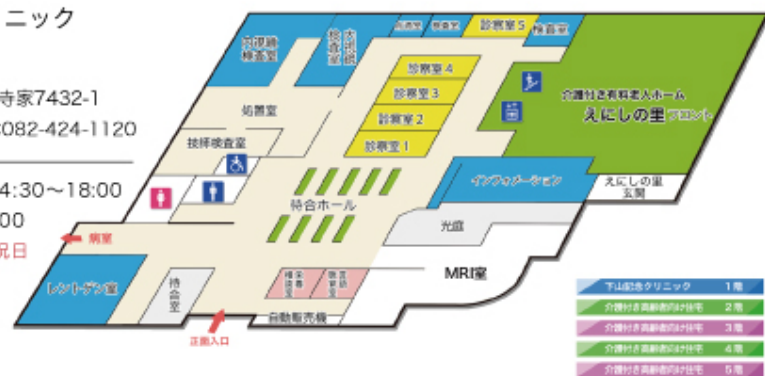
すべての介護施設において、法人内の医師が、ご利用者さまの医療的ケアを担当しており、ご利用者さまの健康上の問題に対して、ご利用者さまやご家族さま、また介護職からの相談に、より親身に対応できる体制ができています。
また、夜間や休日の急変時には看護部や医師がすぐに対応できるよう24時間365日の待機体制をとっています。

医療法人 好縁会 下山記念クリニック

院長/ 叶 康司

〒739-0041 東広島市西条町家7432-1
TEL:082-424-1121 FAX:082-424-1120

診療時間
午前 8:45～12:30 午後 14:30～18:00
土曜午後 14:00～17:00
休診 土曜午後・日曜・祝日

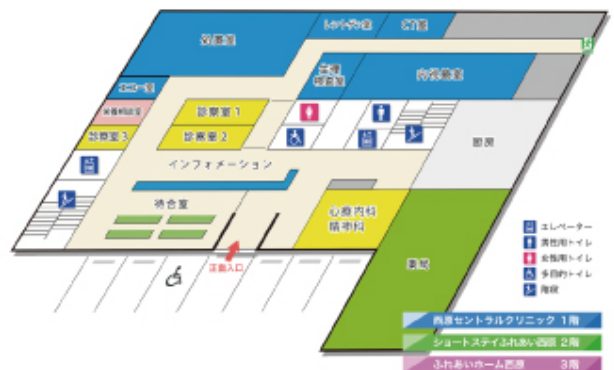


医療法人 好縁会 西原セントラルクリニック

総院長/ 下山 直登

〒731-0113 広島市安佐南区西原8丁目33-3
TEL:082-871-1177 FAX:082-871-1167

診療時間
午前 8:45～12:30 午後 14:30～18:00
土曜午後 14:00～17:00
休診 火曜午後・日曜・祝日



● Value (価値観) ●

- ～ 高品質 Quality ～
- ～ 誠実 Sincerity ～
- ～ 謙虚 Modesty ～
- ～ 向上心 Ambition ～

- 私たちは、高品質かつご利用者本位のサービスで安心・安全な生活と感動を届けます。
- 私たちは、約束を守り、正直に、利他の心・真心をもって行動します。
- 私たちは、素直な心と思いやりを持ち、お互いを信頼し、協調して仕事に取り組みます。
- 私たちは、現状に満足せず、より高い知識、教養、人格を備えることを目標に切磋琢磨します。

● 介護部門 ● 生活づくり10ヶ条

- ✓ 第1条「まず座る」これが生活の第一歩
座ることによって回りの風景が見え、身体を支える筋肉が活動的になる。覚醒が高まり身体に力がついてくる。座ることから始め正しく座るへ。
- ✓ 第2条「食事は座って自分で食べる」これが元氣のもとになる
座って自分で食べること。顔をはじめとする身体中に感覚という栄養を送り心の動きを活性化にする。仲間や友人と一緒に楽しむ会食づくり。
- ✓ 第3条「排泄は自分でしたいもの」安易なおむつは認知症のもと
安易なおむつの利用はプライドを傷つけ、生活を受け身に心身の活動性を奪うことになる。おむつからポータブルトイレへ、さらにトイレへと。
- ✓ 第4条「着替え、入浴、身だしなみ」これが生活を広げる準備
清潔や衛生を保つばかりではなく、心身のメリハリをつけ生活リズムの調整に大きな役割を果たす。気持ちや生活を活気づけ、人との交流を広げていく準備にする。
- ✓ 第5条「用具の活用、住環境の工夫」生活を支える住まいの調整
車椅子や手すり、入浴台等の工夫によって、自分で動ける、お風呂に入れる等、生活範囲が広がる。活動的な生活を支えるために積極的に工夫する。

- ✓ 第6条「着脱を出してもらう」目的があってこそわいてくる
着脱して更衣や洗面等しても、その後何の予定もない生活では、誰もわざわざ着替えようとしません。人と会う、出掛けるとかの目的があればこそ着脱がわいてくる。目的のある生活をつくる。
- ✓ 第7条「すること、会う人、行くところ」外に出よう、そして仲間をつくらう
人は仲間と交流することによって、本来の自分を取り戻すことができる。「することがある」「会う人がある」「行くところがある」これ以上のリハビリはない。
- ✓ 第8条「心が動けば体も動く」心のリハビリが大切
高齢者には「今と昔」が明日へのエネルギーとなる。今を楽しむこと、まず楽しいことをして心が動き、その後の生活のありようが変わっていく。今の関わりを大切に。
- ✓ 第9条「閉じこもらない」「こたわらない」
過度の安静は寝たきりに、閉じこもりは認知症の発症や進行に影響する。障害にこたわらず、家族ととも心の窓や戸を開け、社会の風を入れる。
- ✓ 第10条「生活行為もリハビリテーション」
生活を生き活きたものにし、毎日の生活行為を積み重ねることで雇用性の障害を防ぐことができる。便所に行って排泄する、お風呂に入る、人と会話を、服を脱ぐ、散歩をするといった毎日の生活行為そのものも、大切なリハビリである。

◆ 確かな経験と、医学的根拠に基づいた技術



「介護施設は、それぞれで利用者様に合った生活と一緒に作っていく場所」という方針に共感して、入職を決めました。高齢者の体をただ支えるのではなく、生活全般や将来のことを共に考える仕事をしたいので、当法人は私の思いにピッタリの職場でした。日々のケアの成果が見られた時にすごく喜びを感じます。

● 2015年入社 介護スタッフ 堀越

確かな技術はまず、「座る」



- 椅子に座って食事
- 個浴でゆったり入浴
- トイレで座って排泄

◆ より実践的な力を養う資格取得サポート

当法人では充実した研修制度のほか、介護福祉士、ケアマネジャーなどの社会的ニーズの高い有資格者の取得をサポートしています。また定期研修以外にも、ケース相談やカンファレンスなど、必要な知識や技術について随時柔軟に研修や勉強会を実施しています。

- 新人研修
- 基礎研修
- 管理者研修
- リーダー研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- マイスター試験
- 介護実技研修
- コンプライアンス研修
- 事例研究発表会
- 実務者研修(通信制)スクーリング
介護課程Ⅲ 7日 医療的ケア2日
(福利厚生の一環として、市販の3割程度の負担で資格取得ができます。)